

# 余暇活動が 利用者の意欲に与える影響 ～「その人らしい生き方」を目指して～

聖隷福祉事業団 和合せいれの里  
和合愛光園 和合サテライト  
山本真美

1

## 背景

「自分は何もできない、ダメになった」と不安になるAさん

- ・ DVDを見て歌うこと以外、  
好まれる活動を把握できていない
- ・ 周囲の方とタオルたたみに挑戦したが.....  
「わからない。消えてしまいたい」

**「自分でできた」という達成感を得られる機会を増やしたい**

2

## 目的

前向きな言葉・明るい表情が  
観察できる機会を増やすこと

➡ 「できること」を活かした活動を提供

3

## 倫理的配慮

個人を特定できないよう配慮した

4

## 取り組み内容

- ① 「暮らしシート」の活用
- ② 「分析シート」を使用し  
取り組みの様子を記録・分析
- ③ Aさんに合った余暇活動の選定  
➡ 折り紙・塗り絵・パズル

5

## ① 「暮らしシート」の活用

<b>【対人関係、社会とのつながり】</b> ・友人や知人とのつながり ・なじみの人、会いたい人 ・人付き合いは好き？嫌い？ ・口数は多いか ・どんな人といるとホッとすると癒れる？ ・近所付き合い等、地域とのつながり ・なじみの場所、お店	<b>【住環境】</b> ・持ち家？借家？平屋？集合住宅？ ・どのような間取り？ ・自宅にはどんなものがあった？ ・本人の居場所、落ち着ける場所 ・家の中で大切にしていたもの
<b>【体の痛みや苦しみ、不安】</b> ・痛い部位、症状 ・どんな時に痛むのか ・体調が悪い時に我慢するタイプ？ ・体調が悪い時、声を掛けてほしい？ そっとしておいてほしい？	<b>【楽しみ、生きがい、日常的な活動】</b> ・趣味・空想感覚 ・好きなスポーツや音楽 ・好きなテレビ番組 ・生きがいや楽しみ ・家事や仕事へのこだわり ・仕事は何をしていた？ ・お気に入りの写真 ・一番輝いていた時期は？ ・リラックスするのはどんなとき？

- ・ 童謡を好む
- ・ 長年教会で活動されていた
- ・ 社交ダンスが趣味
- ・ 手先を使う細かい作業を好む

6

## ② 「分析シート」を使用し、 取り組んだ様子を記録・分析

日付 時間	活動内容 何回目の提供か	一緒に活動した人 (職員or利用者様)	活動前の表情・言動	活動中の様子	活動中の表情・言動
記入例 7/1 14:00	塗り絵 (1回目)	竹内様	昼食後のトイレ誘導時、「わからなくなっちゃった」等、不安そうな言葉あり。	C	面材の理解はあるが、顔のどこに色を塗っているかわからない様子あり。 向かいの方が笑顔で色を塗る様子を見てはいる。
7/3 11:00	ジグソーパズル (4回目)	職員	毎朝前には便利だが、その後の生活に支障をきたしている様子で悩んでいる。	A	ピースを当てる際は慎重に選んで入れている様子。色と向きを伝えている。
7/5 14:50	ジグソーパズル (5回目)	職員	DVDの音楽がラジオと終わったと。	A	1ピース上からはみでいて、このピースは、早くにはめる事はできない、まだ待つには「もういい、楽しいね」と言葉が出る。
7/7 16:00	折り紙 (1回目)	職員	TVをみている	A	紙を打て、色を折って、笑顔あり。この折り紙とお顔の絵、しっかりと折ってつけている。 どうやら折り紙は「この折り紙は折れない」といっている様子。
7/8 14:00	塗り絵 (4回目)	職員	昼食後のトイレ誘導時、「私思いついて、お茶あり	A	ピースの折り紙を折って「これ、いいね」と笑顔あり。職員が色を塗る様子を見ながら折っている。 折り紙は「これはもう折れない」といっている。

活動中の様子の評価…A:活動中に笑顔が見られた・前向きな発言が見られた。  
B:活動には参加したが表情の変化はなかった。  
C:活動中に不安な表情・言動が見られた。

7

## 取り組みを通して ① 不安な様子が見られるとき

色が選べない時  
➡ 2～3色の中から選択してもらう

ピースをはめられない時  
➡ ピースの位置や向きを伝える

8

## ②笑顔が見られたとき

デフォルメされた花（好きなモチーフ）を見たとき

➡ 花の塗り絵を多めに準備する

好きな色（ピンク、黄色など明るい色）を見たとき

➡ 好きな色の色鉛筆・折り紙で活動に誘う

9

## ③集中しているとき

字を読もうとしているとき

💡 ひらがな・カタカナの理解がある

➡ 塗り絵に描かれている花の名前を書く

➡ 自分の名前を書く

つるを折っているとき

💡 馴染みのある折り方を覚えている

10

## 結果

▶ 自信の持てる活動を

1日1回提供できるようになった。

▶ 好きな事を提供している間は、笑顔が見られた。

（自信をもって行うことができた）

11



12

## 考察

### 「パーソン・センタード・ケア」を用いて

Aさんのニーズは何か？

もともとは...不安な表情・言動あり

- ①職員が介入 ➡ 笑顔
- ②隣の席の方と塗り絵を行う ➡ 会話・集団への参加  
☆ニーズ「周囲や集団とともにいたい」
- ③なじみのある活動の提供 ➡ 集中して活動に取り組む  
☆ニーズ「結びつきを得たい」

13

## 考察

Aさんが好んでいた馴染みのある活動の提供

➡ 集中力の発揮・安心感に繋がる

職員の知らなかった一面の（保存能力）発見・活用

➡ 「できる」という自信

14

## 今後の展望

- ▶ 利用者同士が関わる機会の創出
- ▶ 利用者によってニーズは異なる
  - ① 「暮らしシート」による情報収集の実施
  - ② その方のニーズの把握
- ➡ ひとりひとりに合った活動の選定

15